ここには日本語の講演演題を記載してください

 **(北海道支部講演会指定テンプレートファイル利用について)**

講演番号（Arial，18pt）

後日公開のプログラムでご確認下さい．

申込番号ではありません．

**Title of Research Paper**

**(Subtitle of the Research Paper)**

○学　機械 太郎\*1 　　正　技術 さくら\*1　　正　機械 二郎\*2

発表者には〇を記載，氏名の前に会員資格を記載する．正員：正，学生員：学

会員外・他団体（共催・協賛）の方は記載不要

機械 三郎\*3　　　東京 花子\*1

Taro KIKAI\*1, Sakura GIJUTSU\*1, Jiro KIKAI\*2

Saburo KIKAI\*3, Hanako TOKYO\*1

\*1 日本機械大学 Nihon Kikai University

\*2 信濃町工業大学 Shinano-machi Institute of Technology

\*3 株式会社 機械工学 Kikai Kogaku Corporation

***Key words*** : Word-1, Word-2, Word-3, … (Show five to ten keywords.)

**（英文アブストラクトは不要です．この行は削除してください）**

---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**１．緒　言（大見出し：ゴシック体・太字・10pt・中央寄せ）**

本文：明朝体・9pt (欧文Times New Roman, 9 pt)，文字間隔は1行26文字程度，行間隔は4.2 mm程度にしてください．

* 1. **論文作成に関する注意事項（中見出し：ゴシック体・9pt・太字・左寄せ）**

「この論文の著者の標記」について連名の場合には子応援発表者氏名の前に〇印を付してください．「原稿の枚数」についてはA4判2枚（英文アブストラクトは省略）とします．

「用紙サイズ」はA4 (210 mm × 297 mm) とします．「用紙のマージン (余白) 」は上下25 mm 日本語表題から***Key words*** :の部分の1段組の部分は，左右25 mm 以上開けてください．本文からは2段組みとし，左右15 mm ，段間は 6 mm とします．「文字のフォントと大きさ」については表1 を参照ください．

Table 1 Type size and typefaces for papers

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 適用場所 | 日本語 | 欧文 |
| 標準のフォント | 明朝体 9 pt | Times New Roman 9 pt |
| 日本語表題 | ゴシック体 14 pt | Arial 14 pt |
| 日本語副表題 | ゴシック体 12 pt | Arial 12 pt |
| 英語表題 |  | Times New Roman 12 pt |
| 英語副表題 |  | Times New Roman 10 pt |
| 日本語著者名 | 明朝体 10 pt |  |
| 英語著者名 |  | Times New Roman 9 pt |
| アブストラクト・キーワード |  | Times New Roman 9 pt |
| 大見出し | ゴシック体 10 pt | Arial 10 pt |
| 中見出し | ゴシック体 9 pt | Arial 9 pt |
| 図・表の番号・タイトル |  | Times New Roman 9 pt |
| 文献 | 明朝体 8 pt | Times New Roman 8 pt |

「図の画質」は300 dpi 以上の画質の高い物を使用してください．「図のタイトル」は「Fig. # English title」，「表のタイトル」は「Table # English title」の形式に従い，文中では「図#」「表#」の形式で引用してください．



Fig. 1 Tensile stress-strain diagram

「グラフの軸のタイトル」については，各軸のタイトルとして変数記号だけを書く形式はできるだけ避け，図1に示すように「軸を表す語句 [単位]」を英語で記入してください．

「数式」は

 $M\ddot{x}+Kx=Mg$ (1)

に示すように，右寄せで番号をふり，式は中央に配置してください．本文中では「式(1)」として引用してください．「単位」についてはSI単位系とします．

「文献の引用」については，引用を表す語句や文の後ろに文献番号を「○○は△△の手法を提案した[1]．」や「××手法[2]」のように表現し，「文献[1]では，・・・」などのような番号のみのような表現を避けてください．

**２．備　考**

留意点は以下のとおりです．

※　論文原稿に講演番号等の記載をお願いいたします．

論文原稿はMS Word ファイルとともにPDFファイルに変換したものも一緒に，日本機械学会北海道支部事務局(以下，事務局と呼ぶ．)まで電子メールでご提出ください．論文原稿提出時に合わせてJSTデータベース用のアブストラクトもお送りください．

論文の原稿には，必ずヘッダー・フッター，講演番号をこのテンプレートのように記載してください．

TeXでの原稿作成者はPDFファイルに変換したファイルのみを事務局まで電子メールにてご提出ください．PDFファイルへの変換時にはできるだけすべてのフォントの埋め込みを行ってください．

なお本講演会において「日本機械学会若手優秀講演フェロー賞」ならびに「北海道支部賞　支部優秀講演賞」の審査をいたします．

**謝　辞**

（例）この研究は○○財団○○研究助成の支援により実施されたものです．ここに謝意を表します．

**文　献**

[1] 新宿大五郎，渋谷次郎，東京 学， “○○法に関する一考察(第1報　○○法の提案と性能評価)”，日本機械学会論文集C編，Vol. 1, No. 6 (2020), pp. 132­­−137.

[2] 新宿大五郎，渋谷次郎，東京 学， “△△への○○法の適用(第2報　○○法の応用)”，日本機械学会論文集C編，Vol. 1, No. 6 (2020), pp. 132­­−137.

[3] Shinjuku, D.， Shibuya, J., and Tokyo, M., “Application of Super Frequency Spectrum Method for Machine Vision”, International Journal of JSME，Series C, Vol. 1, No. 3 (2019), pp. 32­­−39.